

活動資料

焼 き 芋

山形市少年自然の家

1. 活動概要

かまどや焚き火台を用いて、自分たちで火の調整をしながら焼き芋を作る活動です。

ねらい：火を起こす基本や自分たちで作りあげる喜び、食べる楽しさを味わう。

2. 活動場所

①本館営火場 / 炊飯場（かまど18口）

②荒沼キャンプ場 / 炊飯場（かまど28口）

③板橋沼キャンプ場 / 炊飯場（かまどA・B棟各12口／C・D棟各10口／E棟6口）

④（焚き火台10個を使うなら）屋根付き広場 / 体育館ピロティ / 営火場

3. 所要時間

準備・薪への火付け・芋を焼く時間・後片付け等で1.5～2時間程度（団体の裁量による）

4. 準 備

《自然の家》薪

《各 自》サツマイモ・新聞紙3枚・アルミホイル3枚・竹串・マッチ・軍手

5. 費 用

薪1束 180円（かまど1口につき2束が目安）

6. 活動内容

※活動を計画する場合は自然の家職員までご相談ください。

【作り方】

- ① サツマイモを水洗いする。
- ② 新聞紙3枚にてサツマイモを巻き水で湿らす。
- ③ アルミホイル3枚にて隙間が無いように②を巻く。
- ④ 火のついた薪に③をくべる（かまど1口に3つまで）。
- ⑤ 40分焼いたら、おき火からサツマイモを取り出し、15分蒸らす。
- ⑥ サツマイモの芯まで火が通ったか確認して、できあがり。



7. 実施上の留意点

- ・火を使う活動なので、指導者は安全面に十分注意してください。
- ・火床やかまどには水をかけないようにしましょう。
- ・かまどは、薪の燃えかすをドラム缶に捨てた後、掃除しましょう。
- ・営火場では火床が燃え尽きるまで管理してください。その後、灰、炭など片付け、きれいに清掃しましょう。
- ・落ち葉での焚き火は煙が出るのでやめましょう。